

令和5年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和6年3月31日時点)

施設名	港区立芝高齢者在宅サービスセンター														
指定管理者	医療法人財団百葉の会														
指定期間	令和	4	年	4	月	1	日	～	令和	9	年	3	月	31	日
募集方法	公募	グループ化の有無	○	利用料金制の採用	○	使用許可権限の付与	－								
施設所管課	保健福祉支援部高齢者支援課														

2 職員体制

(単位：人)

	正規	常勤	非常勤	非正規	常勤	非常勤	委託（シルバー人材センター等）	合計
職員数	13	13	0	17	6	11	3	33
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考		
正規・非正規職員の退職者数	5	8						

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和4年度	令和5年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備考
延利用者数（人）	9,733	9,649				

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項 目		令和4年度	令和5年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備 考
経費実績	収入	186,035,201	181,361,010	0	0	0	
	指定管理料（清算後）	77,970,184	77,009,264				宿泊デイも指定管理料に含まれる
	利用料金収入	106,967,516	103,482,991				介護報酬、利用者負担金
	その他収入	1,097,501	868,755				その他
	支出	163,787,571	176,183,270	0	0	0	
	職員人件費	103,803,311	111,190,480				
	光熱水費	8,159,356	6,808,128				
	修繕費	4,172,300	3,047,874				
	事業運営費	14,266,222	18,859,728				
	施設管理経費	21,462,512	22,728,348				
	その他経費	11,923,870	13,548,712				
差引収支額	22,247,630	5,177,740	0	0	0		
年度協定書で定める指定管理料		80,190,040	86,736,018				

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価視点	指定管理者による評価	区による評価		
			評価	加算	点数

【施設の維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者に声を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	3 / 5	3 / 5	×5	15 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2	10 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2	10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	3 / 5	3 / 5	×3	9 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	3 / 5	3 / 5	×3	9 / 15
区による評価合計点						78 / 100

【各項目の評価について】	
5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。	
3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。	
1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。	
※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「－：評価対象外」とします。	

指定管理者による自己評価	令和4年度の反省点をしっかりと踏まえ、コンプライアンスを重点的に考え、研修やケアの質向上に向けた取組を実施してきました。しかし、年間平均稼働率は一般通所介護は上回ったものの、認知症対応型通所介護は減少したため、地域包括支援センターやケアマネジャーとの連携の再構築や情報の共有を丁寧に行うように進めて、職員全体の意識向上へ取り組んできました。施設長及び職員に対する研修への参加や、今年度は内部研修の工夫を行い、サービスの向上、スキルアップに努めご利用者様が安心して過ごせるように取り組むことができました。
区（施設所管課）による評価	前年度より職員の研修及び面談を重ねたことにより、各位のスキル、知識が各段に向上していることが月例モニタリングで確認できました。次年度以降はサービス改善に係る提案を積極的にできるよう、職員育成を継続し、安定した運営を実現する盤石な体制づくりに努めてください。 安全管理については、前年度の反省点を踏まえ、個人情報保護・情報セキュリティに関する事故は発生しませんでした。区とのやり取りの中で事故発生時の対応が十分でない部分が見受けられました。施設長不在の状況においても、適切な報告及び対応ができる体制を整えるよう、区として助言・指導してまいります。

6 評価

令和5年度の管理運営に関する総合評価	B
--------------------	---

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】	
S：施設の管理運営は特に優れていた	(90%以上)
A：施設の管理運営は優れていた	(80%以上90%未満)
B：施設の管理運営は適切に行われていた	(60%以上80%未満)
C：施設の管理運営に改善が必要であった	(60%未満)